３．エリア別再生指針

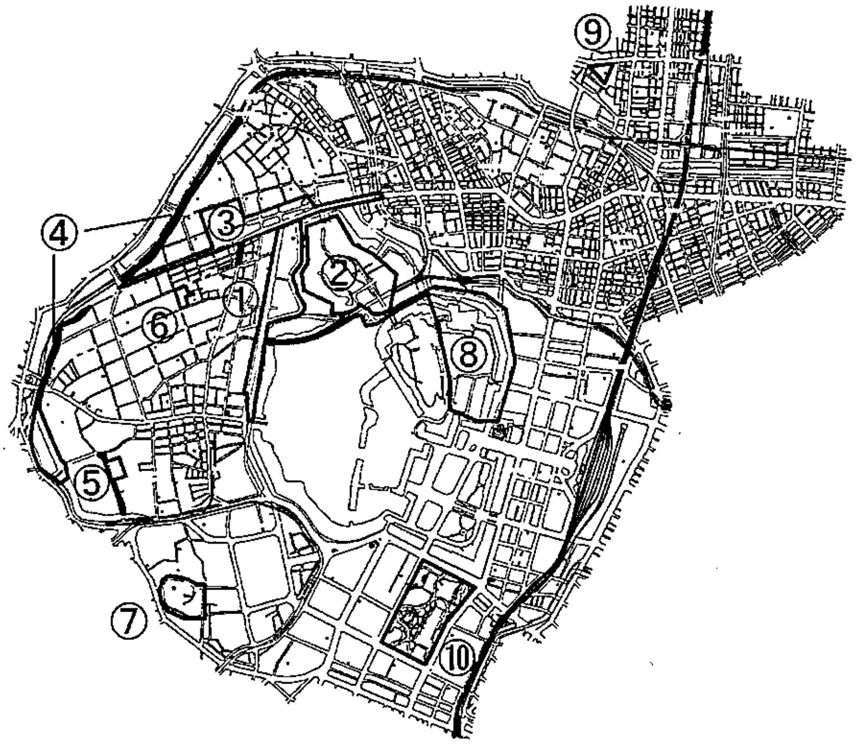
千代田区のさくらの代表的な場所 20 ヶ所を踏査し、エリアとして１０エリアにまとめた上で現地調査を行い、その結果に基づいて各エリアについて再生指針を作成した。

再生指針は、さくら管理者の実施計画を方向付けるとともに、今後「区の花さくら連絡会」において検討するものである。

ｴﾘｱ区分	対象地	管理者	本数	さくらの種類
１.千鳥ヶ淵周辺	千鳥ヶ淵緑道	千代田区	７６本	ソメイヨシノ
	隣接濠側法面	環境省	５３本	ソメイヨシノ
	千鳥ヶ淵公園	千代田区	１６７本	ソメイヨシノ、ヤマザクラ サトザクラ
	内堀通り	東京都	７２本	ソメイヨシノ
	千鳥ヶ淵戦没者墓苑	環境省	１４本	オオカンザクラ　他
２．北の丸公園		環境省	329 本 (※)	ソメイヨシノ、ヤマザクラ サトザクラ
３.靖国神社周辺	靖国神社	靖国神社	406 本	ソメイヨシノ他
	靖国通り	東京都	160 本	ソメイヨシノ
	大妻通り	千代田区	２０本	ソメイヨシノ
４.江戸城外濠の土手筋	真田濠	千代田区	５９本	ソメイヨシノ他
	五番町堤塘地	千代田区	７５本	ソメイヨシノ他
	五番町児童遊園	千代田区	３６本	ソメイヨシノ他
	新見附濠	千代田区	110 本	ソメイヨシノ、ヤマザクラ
	牛込濠	千代田区	５２本	ソメイヨシノ、ヤマザクラ
５.清水谷公園周辺	清水谷公園	千代田区	９本	ソメイヨシノ他
	紀尾井町通り	千代田区	６５本	カンザン、フゲンゾウ
６．東郷元帥記念公園		千代田区	２５本	ソメイヨシノ
７.日枝神社周辺	日枝神社	日枝神社	１５本	ソメイヨシノ
	周辺区道	千代田区	７０本	カンザン
８.皇居北縁部周辺	皇居東御苑	宮内庁	280 本	ソメイヨシノ、サトザク （計．３０品種）
	代官町通り	千代田区	175 本	ヤマザクラ、オオヤマザクラ
	内堀通り	東京都	４７本	ソメイヨシノ、シダレザクラ他
９.神田神社周辺	神田神社	神田神社	３２本	ソメイヨシノ
	宮本公園	千代田区	１２本	ソメイヨシノ
１０．日比谷公園		東京都	５５本	ソメイヨシノ、サトザクラ
				合計本数　２３６１本

（※）千鳥ヶ淵沿い法面の５３本を含めた数。

①千鳥ヶ淵周辺　（千鳥ヶ淵緑道・千鳥ヶ淵公園・内堀通り・千鳥ヶ淵戦没者墓苑）
②北の丸公園
③靖国神社周辺　（靖国神社・靖国通り・大妻通り）
④江戸城外濠の土手筋
⑤清水谷公園周辺　（清水谷公園・紀尾井町通り）
⑥東郷元帥記念公園
⑦日枝神社周辺　（日枝神社・周辺区道）
⑧皇居北縁部周辺　（皇居東御苑・代官町通り・内堀通り）
⑨神田明神周辺　（神田明神・宮本公園）
⑩日比谷公園



1）千鳥ヶ淵周辺

● 地区の位置づけ

皇居のお濠（牛ヶ淵、千鳥ヶ淵、半蔵濠）沿いに続くさくらの植栽地。さくらの名所として全国的に名高い千鳥ヶ淵とそれに隣接して咲く群生地。お堀の水面と皇居や北の丸公園の緑を背景にした美しい景観を作り出している。

● 現地調査および踏査によって確認された問題点

どの場所においてもさくらが密植であり、他の樹木との競合も見られる。利用者に鬱閉感を与えているばかりでなく、お濠の開けた空間がうまく活かされていない。さくらと他樹木の植栽密度調整が必要である。また、各所でサルノコシカケ類の発生が見られ、特に千鳥ヶ淵緑道はナラタケモドキやベッコウタケの発生も見られるので、早急に再生管理を検討しなければならない。

千鳥ヶ淵公園内のサトザクラ類は成育が著しく悪く、この取り扱いは伐採を視野に入れながら検討する必要がある。

● 整備指針

対象地		整　備　指　針	
千鳥ヶ淵緑道	【緑道部分】	永続的な管理	・適正な剪定管理　・施肥　・病虫害対策
		再生管理	・日照改善（周辺高木やさくらの伐採、間伐） ・植栽地の改修 （単独桝→連続桝、剛舗装→透水性舗装、 導根装置の設置）
		更新管理	・植栽余地の確保 ・ならたけ病対策 ・計画的な伐採と後継樹の育成
	【隣接法面】	永続的な管理	・施肥　・病虫害対策
		再生管理	・日照改善（さくらの間伐、剪定）
		更新管理	・計画的な伐採と後継樹の育成
千鳥ヶ淵公園	【大公園部分】	永続的な管理	・適正な剪定管理　・施肥　・病虫害対策
		再生管理	・日照改善（周辺高木やさくらの伐採、間伐） ・さくら単独木の土壌改良
		更新管理	・濠沿いのサトザクラ類の更新
	【英国大使館前】	永続的な管理	・適正な剪定管理　・施肥　・病虫害対策
		再生管理	・日照改善（競り合ったさくらの間伐） ・さくらの密度調整（内堀通りの街路樹を含めて計画的な密度調整を行う。）
		更新管理	
【内堀通り】		永続的な管理	・適正な剪定管理　・施肥　・病虫害対策 ・安全対策
		再生管理	・さくらの密度調整（英国大使館前のさくらを含めて計画的な密度調整を行う。）
		更新管理	
【千鳥ヶ淵戦没者墓苑】		永続的な管理	・適正な剪定管理　・施肥　・病虫害対策
		再生管理	・日照改善（周辺高木の伐採、剪定）
		更新管理	

2） 北の丸公園

● 地区の位置づけ

北の丸公園は約２０haの広大な公園である。さくらの植栽は園内、田安門前および牛ヶ淵沿い、千鳥ヶ淵緑道沿いに行われている。このうち、今回の調査では、靖国通りとつながるさくら並木となっている田安門前および牛が淵沿いのさくらを対象とした。
（注．千鳥ヶ淵緑道沿いに植栽されているものは、「千鳥ヶ淵周辺」で扱った。）

● 現地調査および踏査によって確認された問題点

田安門前のソメイヨシノは、約20年前に高さ4mのところで主幹が切られたために樹高が抑えられているが、枝はお濠側に大きく傾斜しながら伸びている。幹の腐朽やベッコウタケ、コスカシバの発生が見られるが、樹勢はほぼ良好である。

牛ヶ淵沿いと公園内のさくらは、樹齢が若くほとんどが旺盛な生育を示している。

● 整備指針

対象地	整　備　指　針	
【北の丸公園】（田安門前・牛ヶ淵沿い）	永続的な管理	・適正な剪定管理　・施肥　・病虫害対策 ・安全対策
	再生管理	
	更新管理	

３）靖国神社周辺

● 地区の位置づけ

靖国神社とその周辺街路樹（大妻通り・靖国通り）で約６００本のさくらが植えられており、隣接する千鳥ヶ淵と併せて都心部におけるさくらの一大植栽エリアとなっている。

靖国神社には東京のソメイヨシノ開花の基準木があり、また毎年３～４月にさくら祭りが開催され、お花見の人で賑わっている。

● 現地調査および踏査によって確認された問題点

靖国神社外苑のさくらは密植状態にあるのとイチョウやスダジイなどによる日照障害、さらに踏圧による土壌の固結が著しくひどいために、樹勢衰退の大きな要因になっている。踏圧と密植は境内についても同様であった。また、長年さくらが植え続けられているために、いや地現象が懸念される。樹勢は全般的に悪い。

靖国通り、大妻通のソメイヨシノは樹齢が若く樹勢は良好だが、植栽桝が狭く、また地上部も建物や車道に制限を受けている。今後管理していくうえで、これらの要因除去あるいは折り合いを取りながらさくら育成を図ることが必要である。

● 整備指針

対象地		整　備　指　針	
靖国神社	【境内】	永続的な管理	・適正な剪定管理　・壷肥　・踏圧防止対策 ・病虫害対策
		再生管理	・日照改善（競り合ったさくらの剪定） ・壷肥 ・不定根誘導による幹の再生
		更新管理	・植栽密度の適正化 ・ならたけ病対策 ・いや地の解消
	【外苑】	永続的な管理	・適正な剪定管理　・壷肥　・踏圧防止対策 ・病虫害対策
		再生管理	・日照改善（周辺高木の間伐、さくらの剪定） ・土壌改良 （表層土の耕起、壷肥＋ピックエアレーション、 帯状土壌改良）
		更新管理	・植栽密度の適正化 ・いや地の解消
【靖国通り】		永続的な管理	・適正な剪定管理　・施肥　・病虫害対策 ・安全対策
		再生管理	
		更新管理	
		その他	・舗装面の根上がり対策
【大妻通り】		永続的な管理	・適正な剪定管理　・施肥　・病虫害対策 ・安全対策
		再生管理	
		更新管理	
		その他	・舗装面の根上がり対策

４）江戸城外濠の土手筋

● 地区の位置づけ

紀尾井坂からＪＲ飯田橋駅にかけて、途中市ヶ谷駅で一部途切れてはいるものの約２．2km に渡ってさくら並木が続いている。都内ではもとより、全国的に見ても有数規模のさくら並木であり、全体で約３３０本のさくらが植えられている。

● 現地調査および踏査によって確認された問題点

真田濠堤塘地は、横に大きく枝を伸ばしたソメイヨシノが多く素晴らしい。現状での問題は見られないが、何十年後かの樹勢衰退時に、この枝を安全な状態で維持できるかは疑問であり、早めの対応を要する。また、上智大学グランド側のクロマツの被圧を受けているものがあり、このマツとの共存を検討する必要がある。

双葉学園裏から五番町児童遊園にかけては、著しく密植状態で景観的にも鬱閉感を感じる。特に五番町児童遊園は歩行者動線と植樹帯の取り方にも問題があり、施設整備を含めた検討が必要である。

新見附濠、牛込濠は道路側に張り出した枝の付け根の腐朽やベッコウタケに侵されたものがあり、枝折れや倒木に対する安全対策が必要である。

● 整備指針

対象地	整　備　指　針	
【真田濠】	永続的な管理	・適正な剪定管理　・壷肥　・踏圧防止対策 ・病虫害対策　・安全対策（横に広がった枝の支持）
	再生管理	・日照改善（クロマツの伐採、剪定）
	更新管理	・計画的な伐採と後継樹の育成
	その他	・法面土壌の保全
【五番町堤塘地】	永続的な管理	・適正な剪定管理　・壷肥　・踏圧防止対策 ・病虫害対策
	再生管理	・日照改善（周辺高木、さくらの伐採、間伐） ・土壌改良 （表層土の耕起、壷肥＋ピックエアレーション）
	更新管理	・計画的な伐採と後継樹の育成
	その他	・法面土壌の保全
【五番町児童遊園】	永続的な管理	・適正な剪定管理　・壷肥　・踏圧防止対策 ・病虫害対策
	再生管理	・日照改善（周辺高木やさくらの伐採、間伐） ・土壌改良 （表層土の耕起、壷肥＋ピックエアレーション）
	更新管理	・植栽余地の確保 ・計画的な伐採と後継樹の育成
【新見附濠】	永続的な管理	・適正な剪定管理　・壷肥　・踏圧防止対策 ・病虫害対策　・安全対策
	再生管理	・日照改善（周辺高木やさくらの伐採、間伐） ・土壌改良 （表層土の耕起、壷肥＋ピックエアレーション）
	更新管理	・ならたけ病対策 ・植栽余地の確保 ・計画的な伐採と後継樹の育成
	その他	・法面土壌の保全

対象地	整　備　指　針	
【牛込濠】	永続的な管理	・適正な剪定管理　・壷肥　・踏圧防止対策 ・病虫害対策　・安全対策
	再生管理	・日照改善（周辺高木やさくらの伐採、間伐） ・土壌改良 （表層土の耕起、壷肥＋ピックエアレーション）
	更新管理	・植栽余地の確保 ・計画的な伐採と後継樹の育成
	その他	・法面土壌の保全

5）清水谷公園周辺

● 地区の位置づけ

紀尾井町通りは明治時代からサトザクラの並木として知られている。現在のものは、昭和５２年の改修時に新たに植栽されたものである。

清水谷公園のさくらは、他の樹木と混じって植え込みの中に植栽されている。

● 現地調査および踏査によって確認された問題点

紀尾井町通りのサトザクラ類の並木は、道路改修の際に根系を傷つけられ、根系の制限も受けているため樹勢衰退が著しい。また、カンザンとフゲンゾウが主に植えられているが、品種による樹形の違いがあり、街路樹景観に乱れを生じている。サトザクラ類はその美しさを維持するには、施肥と樹形管理を要求するので、維持管理手法について検討を要す。

清水谷公園のソメイヨシノは老木化と同時にマツの被圧を受け、樹形が乱れている。

いずれの場所とも不適切な剪定処理による腐朽が生じている。

● 整備指針

対象地	整　備　指　針	
【清水谷公園】	永続的な管理	・適正な剪定管理　・施肥　・病虫害対策
	再生管理	
	更新管理	・植栽余地の確保
【紀尾井町通り】	永続的な管理	・適正な剪定管理　・壷肥　・病虫害対策 ・安全対策
	再生管理	・土壌改良（縦穴掘削による排水確保） ・植栽地の改修（街路樹桝の拡張）
	更新管理	・衰退木の伐採と後継樹の補植

6） 東郷元帥記念公園

● 地区の位置づけ

昭和４年に開園された公園で、北半分が高く南半分が低い二段の公園となっている。
北半分には樹高１５ｍまで生長した大径木のソメイヨシノが生育している。

● 現地調査および踏査によって確認された問題点

全般的にスダジイなどの常緑樹やケヤキによる被圧が見られるので、さくら以外の樹木との共存を今後どう図っていくのか検討する必要がある。園内のソメイヨシノは老齢樹が多く、コフキサルノコシカケやカワラタケが発生し、一部に著しく樹勢の衰退や樹形の損なったものがある。これらは幹が傾斜して太枝が利用者の通行障害になっている。再生または更新の検討が必要である。

● 整備指針

対象地	整備指針	
【東郷元帥記念公園】	永続的な管理	・適正な剪定管理　・施肥　・踏圧防止対策 ・病虫害対策　・安全対策
	再生管理	・日照改善（周辺高木の間伐、剪定） ・土壌改良（壷肥＋ピックエアレーション）
	更新管理	・計画的な伐採と後継樹の育成

7） 日枝神社周辺

● 地区の位置づけ

日枝神社は小高い丘の上にあり、関東大震災以前には麹町公園としてさくらが群落として植栽されていた。平成９年～１１年に日枝神社を囲むように区道が整備されサトザクラ（カンザン）が植えられた。

● 現地調査および踏査によって確認された問題点

社殿の周りにはソメイヨシノが、斜面の杜の中にはソメイヨシノとヤマザクラがあり、どのサクラも隣接する樹木や建物と競合しながら成育している。社殿周りのものは比較的若いものが多いが、ほとんどが根系伸長と日照条件、地上の成育空間の制約を受けている。このような状況でのさくらの育成と維持管理について、今後検討してゆくことが必要となる。

外周部分の区道のサトザクラ並木は、崖下の水の溜まりやすい場所にあり、狭い植樹桝に植栽されていることから今後のさくら育成に課題が残る。

● 整備指針

対象地	整備指針	
【日枝神社】	永続的な管理	・適正な剪定管理　・施肥　・病虫害対策 ・安全対策
	再生管理	・植栽地の改修 （アスファルト舗装を透水性舗装に改修）
	更新管理	
【周辺区道】	永続的な管理	・適正な剪定管理　・壷肥　・病虫害対策
	再生管理	・土壌改良（縦穴掘削による排水確保）
	更新管理	・計画的な伐採と後継樹の育成

8） 皇居北縁部周辺

● 地区の位置づけ

千鳥が淵周辺・靖国神社周辺とあいまって都心部の一大さくら植栽地を形成しており、皇居周辺の回廊として重要な位置を占めている。ジョギングコースとして多くの学生、市民ランナーに親しまれている。

● 現地調査および踏査によって確認された問題点

皇居東御苑は落ち着いた雰囲気の中にさくらが群植され、鑑賞性のポテンシャルは高い。しかし、ソメイヨシノ、サトザクラ類、シダレザクラが狭い場所に固めて植えてあり、極度の密植、競合状態にあるため、生育は良好とは言いがたい。また芝生広場のエドヒガン系のさくらは現状ではまだ木は小さく生育状態も良好であったが、将来さくらが成長した段階ではお互いに競り合うこととなり生育障害を招くことが予想される。

代官町通りは植え桝に植栽されているため、根系の制限を受けている。さらに長年ヤマザクラが植え続けられているために、いや地現象と思われる生育障害が生じている。根の切断による影響も大きい。根系の確保といや地の解消が課題となる。

内堀通りはヤマザクラ系の品種やシダレザクラ、ソメイヨシノ、サトザクラ類などが不連続に植えられ、樹勢もまちまちであることから、維持管理によって樹勢回復を図り、統一感のある街路樹へ育成してゆくことが望まれる。

● 整備指針

対象地	整　備　指　針	
【皇居東御苑】	永続的な管理	・適正な剪定管理　・壷肥　・病虫害対策
	再生管理	・日照改善（さくらの間伐、剪定） ・土壌改良（壷肥）
	更新管理	
【代官町通り】	永続的な管理	・適正な剪定管理　・壷肥　・病虫害対策 ・安全対策
	再生管理	・土壌改良（縦穴掘削による排水確保）
	更新管理	・計画的な伐採と後継樹の育成
【内堀通り】	永続的な管理	・適正な剪定管理　・壷肥　・病虫害対策 ・安全対策
	再生管理	・土壌改良（縦穴掘削による排水確保）
	更新管理	・周辺環境に調和したさくら景観に誘導してゆく。

9）神田神社周辺

● 地区の位置づけ

神田神社と宮本公園は隣接し、一体となった緑化空間を構成している。

● 現地調査および踏査によって確認された問題点

境内東側のソメイヨシノは植え桝で根系が制限されている。現状では成育は良好であったが、今後の管理次第で衰退が懸念される。西側のソメイヨシノは、やや樹勢が衰退し始め、樹冠上部の枝の先端が下垂しており、踏圧による障害と思われるため、施肥などの再生管理が望まれる。駐車場周りのソメイヨシノは、駐車施設により根系が極端に狭められ、さらに強剪定が行われているので、今後急速な樹勢衰退が懸念される。

宮本公園の北側法面のソメイヨシノは、老木化し腐朽のひどいものが多く、更新管理が望まれる。

● 整備指針

対象地	整　備　指　針	
【神田神社】	永続的な管理	・適正な剪定管理　・施肥　・病虫害対策 ・安全対策
	再生管理	・植栽地の改修 （単独木の植え込みの改修、 アスファルト舗装を透水性舗装に改修）
	更新管理	
【宮本公園】	永続的な管理	・適正な剪定管理　・施肥　・病虫害対策
	再生管理	・植栽地の改修（単独木の植え込みの拡張）
	更新管理	・更新、補植

１０）日比谷公園

● 地区の位置づけ

関東大震災前には約４００本のさくらが植栽されていたが、現在植えられているさくらは公園全体で５５本であり植栽地の一部を占めるに留まっている。

● 現地調査および踏査によって確認された問題点

カモメの広場のソメイヨシノは、タイルで舗装された場所に直径 1.5m の円形の単独マスに植えられている。根系域は狭く、根は既に植桝の中でトグロを巻いた状態になっているものやタイルを押し上げているものなどがある。水分不足のためか、早期落葉が始まっており、また、ベッコウタケの発生もあり、全体に生育状態が悪い。また歩行者動線に近接しているので、大きく成長した場合に木の大きさを一定に維持するような管理が必要。

● 整備指針

対象地	整　備　指　針	
【園内】	永続的な管理	・適正な剪定管理　・壷肥　・病虫害対策
	再生管理	・日照改善（周辺高木の間伐、剪定） ・土壌改良（壷肥＋ピックエアレーション）
	更新管理	・植栽余地の確保
【かもめの広場】	永続的な管理	・適正な剪定管理　・病虫害対策
	再生管理	・植栽地の改修 （単独木の植え込みの改修）
	更新管理	